

研修医・指導医リレーエッセー^{③②}



津山中央病院 卒前卒後 臨床研修センター(卒臨研)

研修医の情熱 × 指導医の情熱

津山中央病院 総合内科・感染症内科部長、
卒後臨床研修センター長／研修管理委員長 藤田 浩二



津山中央病院の藤田浩二です。総合内科・感染症内科部長、卒後臨床研修センター長などに加えて、令和7年4月1日より研修管理委員長を拝命いたしました。この度、リレーエッセーのバトンを受け取りましたので、書かせていただきます。

県北の「砦」として、当院は日々急性期医療に力を注いでいますが、特に『新幹線や飛行機の中で“お医者さんはいませんか”と言われた時に手を挙げる医者になる』というキャッチフレーズの下、研修医も指導医も己を磨くことに情熱を注ぐ日々です。当院は開院当初から、ワンフロアの大きな医局で過ごしていることもあり、各診療科の垣根がかなり低く、日々の診療においていつでも気軽に助け合う伝統を持っていますが、この縦割りの壁が無い医局の特徴もあり、全科を挙げて一丸となって後輩や研修医の育成に力を入れているのも当院の特徴です。あらゆる症例が集まる3次救急のフィールドがあり、全科協力体制の分化があり、研修医の情熱と指導医の情熱が掛け合わされ、毎年入ってくる研修医の先生たちは研修終了時には凄まじく腕を上げ、救急現場はもちろんですが、飛行機や電車、公共の場においても急患が発生すれば自信をもって手を挙げ救助に入っています。今年度も新たに優秀で情熱に満ちた9名の研修医の先生が着任されました。彼らと共に、今年度も津山中央病院を情熱あふれる熱い場所にしていきたいと思えます。

藤田 浩二

東京生まれ、岡山育ち、岡山大安寺高校卒、京都薬科大学卒、岡山大学医学部医学科卒

津山中央病院 総合内科・感染症内科部長、感染制御室長、卒後臨床研修センター長、研修管理委員長、岡山大学医学部医学科臨床教授